

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	安全で快適なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成29年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町では、近年多発する豪雨の発生によって町の至る所で被害が発生し、災害に強いまちづくりの必要性が高まっている。災害時の避難場所となる公共施設の整備充実など、災害が発生した場合の対策を行うとともに、町職員の業務分担等を明確化する計画を策定することで、切れ目のない住民サービスの提供を可能にし、より安心・安全なまちづくりを進める。</p> <p>さらに、京都府景観資産登録第一号に認定された「茶畑景観」や豊かな景観を保護するため、町自ら率先してゴミの焼却処理やゴミの減量化に取り組み、住民の環境保全意識に対する意識向上を図る必要がある。</p> <p>また、地域の事情に最も詳しい住民自らが取り組む地域環境の改善に対して支援を行うことで、効率的に事業を実施する。</p> <p>以上のことから、災害、環境、防犯の課題に取り組むことにより、誰もが安心して住むことができる、安全かつ快適なまちづくりを進める。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年増加している災害から住民の暮らしを守るため、非常時に備えて避難拠点の整備などを行う。</li> <li>・豊かな自然と住環境を守るため、広域林道の除草、不法投棄防止やゴミ減量化などの環境美化活動を促進する。</li> <li>・住民の憩いの場である運動公園一帯の美化に取り組む。</li> <li>・地域住民自身が防犯上危険と考える箇所の整備に対して補助を行う。</li> </ul>							
	総事業費（千円）	21,843	本年度事業費（千円）	21,843	交付金額（千円）	8,336		
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	不法投棄等防止事業	交付対象事業	不法投棄を未然に防止するためパトロールの実施、清掃作業		産業廃棄物不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、週4～5回のパトロール及び清掃活動を実施し、快適な環境を創出した。			
	和東運動公園美化事業	交付対象事業	和東運動公園一帯の美化事業を委託		広域避難所である和東運動公園の落葉の撤去等の整備を実施するとともに、積極的な住民利用を促した。			
	防災無線整備活用事業	交付対象事業	防災行政無線の整備と維持点検を行った		正確な災害情報を地域住民へ迅速に伝達することで、災害による被害を減らすとともに、安心安全な暮らしを確保した。			
	コミュニティーリバー整備事業	交付対象事業	湯船森林公園内トイレの制御盤の取替を行った		トイレ環境の整備を行い、快適な利用環境を創出した。			
	災害対策業務継続計画策定事業	交付対象事業	災害時の業務継続について計画の策定を行った		非常時における人員の配置や優先業務の順位付け等住民サービスに影響が出ないよう計画を策定し、安心安全な暮らしの各自治会、老人クラブ等の協力により資源ゴミをリサイクルした。回収量：151,512kg			
住民 協働 事業	ゴミ減量化推進事業	交付対象事業	一般廃棄物の内、リサイクル可能な資源ゴミ(古紙、古布等)に対して補助		老朽化した防犯灯の取替や危険箇所への新設等を補助したことにより、防犯環境が向上し、安心安全な暮らしを確保し			
	地域防犯環境整備推進事業	交付対象事業	町内にある防犯灯の回収や新設を補助					

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和東町

成果指標①	成果指標の目標数値	一般廃棄物の量 H28 1,397t → H29 1,100t		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	1,387t
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	減少はしたものの、大幅な減量にはならなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	親水公園利用者数 H28 5,961人 → H29 6,400人		成果指標の実績値 (29年12月31日時点)	4,832人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	定期的な利用者以外の利用が少なく、利用者数が伸びなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>一般廃棄物の絶対量を減らす呼びかけと併せて、資源ごみとの分別を徹底するよう周知する。広報誌や防災無線等を活用しながら町内外を問わず積極的な利用を呼びかけていく。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果				
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙回収に住民全体で取り組むことにより、環境美化・保全への意識を高めることができた。</li> <li>防災行政無線による迅速な災害情報の伝達により、住民の防災意識の向上が図られた。</li> <li>防犯灯整備に補助をしたことで、地域住民自らが老朽化の確認や危険箇所の把握を一層意識するようになり生活環境改善への意識向上を図られた。</li> </ul>			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源ゴミ（古紙）を回収し循環型社会の形成に向けて取り組むことで、ゴミ処理施設の運転に係わる負担軽減とともに、環境保全の意識向上につながった。</li> </ul>			
	行財政改革に資する成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの減量化を実現することで、ゴミ処理に係わって搬入割という形で支払っている分担金の削減につながった。</li> </ul>			
	その他の成果				

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。